

[okazaki\_109]

|        |  |
|--------|--|
| 活動タイトル | 南線小学校・総合学習「エネルギーはどこから」   |
| 実施日    | 2018年11月27日  |
| 場所     | 石狩市南線小学校（石狩市）  |
| 対象数    | 小学6年生 157人、先生・石狩市職員 8人   |
| 内容     | <p>総合学習「私の暮らしに大切なもの～エネルギーはどこから～」の5コマ目として実施。「CO<sub>2</sub>と地球温暖化について」というタイトルで、「発電方法の中には、化石燃料を消費し、CO<sub>2</sub>を出すものがあることを理解し、それが地球温暖化につながるということがわかる」というねらいに沿った内容とし、簡単な電力測定を、所属するNPO法人北海道グリーンファンドの協力を得て、組み込みました。</p> <p>配布資料として、太陽光発電以外の発電のしくみと、測定した電力量の記録用紙の付いたワークシートを用意しました。</p> <p>児童たちは、前の授業で風車見学をしていたので、導入として風車の歴史や発電の仕組みを伝え、いろいろな発電の種類につなげ、途中クイズも盛り込みながら、温暖化の話へと展開していきました。</p> <p>その後、用意した身近な家電（白熱電球、電球型蛍光灯ランプ、LED電球、ドライヤー、掃除機）と、学校にあるテレビについての消費電力の測定を、グリーンファンドのスタッフに手伝ってもらって行いました。最初に、多い順を予想してもらった後、ワットチェッカーを使って測定し、学校にある書画カメラを使って、測定結果をモニターに映し出しました。最後に、家庭や学校でできる省エネ・節電を考えて、終了しました。</p> <p>5クラスの児童が一斉に学習するには、部屋が狭く、ワークシートを広げるスペースが十分にはとれませんでした。また、後ろの生徒が見るには、スクリーンが小さすぎたようです。人数や会場に合わせた内容にするか、1クラスか2クラス単位に分けて実施するようになるか、再考の必要がありました。</p> |
| 実施写真等  |     |